

がんばるお母さん社員を応援

「お母さん業界新聞」を企業・団体へ無料提供

子育てあるある記事に「ほっとした」「元気になれた」「ヒントがもらえた」

両立支援に **電子版** を！ 外国人支援に **英字版** を！



「お母さんの笑顔」をテーマに30年、子育て支援やまちづくり、企業の社員教育や広報など、母親目線でさまざまな事業に取り組むお母さん業界新聞社（横浜市/藤本裕子）は、新型コロナウイルス禍の対応として、STAY HOME 中のお母さん・お父さん社員を応援することを目的に「月刊お母さん業界新聞」を無料で読める「**電子版**」提供サービスを実施。企業インフラを活用した両立支援の取り組みとして、コロナ疲れの母親を救い、日常の笑顔を取り戻すための一助になっている（現在も継続中）。

4月からスタートし、現時点で採用企業は80社に上る。メーカーからサービス業、病院や幼稚園など、上場企業から社員数名の会社まで業種業態、規模はさまざま。電子版を読む人は、お母さん社員、お父さん社員に限らずそのパートナーも。社長が「この新聞の対象は人間だ」と、全社員配信を決めた企業もある。

海外に拠点を持つ企業、外国人社員がいる企業からは「外国人社員とも共有した

い」という声もあった。またコロナの影響を探る中、「日本に暮らす外国人のお母さんたちが、孤立感を高めている」という事実を知った。そこで13人の英訳ボランティアの協力を得て5月号を丸ごと英訳し、スペシャル号とした、お母さん業界新聞「**英字版**」を制作。無料で企業・団体の方へ提供し、好評を博している。

パンデミック以前より、在日外国人の“孤育て”は日常であった。コロナ後も外国人労働者との協働、共生は大きなテーマである。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除され、「新しい生活様式」がうたわれる中、家庭や仕事、もとより、生き方そのものを見直していくべき時。新しい時代に向かう今、日本人、外国人の差別なく、

SDGs「誰一人取り残さない」社会の実現のため、すべての「お母さんが笑顔」で子育てできることを願い「英字版」配信サービスを実施していく。今件は、外資系企業、外国人従業員がいる企業のほか、国際交流団体、海外メディア等へも働きかけていく。引き続き「電子版」は、企業や団体を通じての配信を広く、呼びかけていく。



●英字版の目的と特徴

- ・コロナ禍の日本において、母国に帰れず不安を募らせている外国人お母さんたちのために
- ・コロナ以前から“孤育て”で、不安な暮らしをしている外国人お母さんがいっぱいいる
- ・外国人労働者を抱える企業の「社員」や「社員の妻」たちをサポートするため
- ・パンデミック渦中、万国共通の「お母さんの思い」を共有するため
- ・日本の子育ての日常を知ってもらい、日本の文化や暮らしを知ってもらうことに

- ・「英字版」を機会に今後も日本人母たちとのつながりをつくり、積極的な交流を促していく
- ・13人のボランティアによる英訳、ネイティブ監修も経た読み応えのある新聞に
- ・「英字版」を一般公開はせず、企業や団体を通じて個人に提供。期間は夏頃までを予定

●企業が「お母さん業界新聞」を活用する理由

- ・働くお母さんやお父さんたちに、子どもとの過ごし方を提案するなどの一助になる
- ・お母さんを元気にする、明るい話題が必要。「お母さんの笑顔」で乗り切ろう！
- ・在宅社員と企業をつなげるツールになる。企業の両立支援、新たな情報提供として
- ・今後お母さん業界新聞社のノウハウやコンテンツを、育休・両立支援に生かすなどの展開も

●「お母さん業界新聞」とは

- ・「お母さんの笑顔」をテーマに子育て支援歴30年の、株式会社お母さん業界新聞社が発行
- ・「お母さん業界新聞」毎月1日発行/タブロイド判/P8/4C/「お母さん大学」サイトでも発信
- ・400人のフツーのお母さんが、お母さん記者としてペンを持ち、日々の子育てを綴っている
- ・「お母さんはスゴイ！を伝え、“孤育て”をなくそう」をテーマにした、お母さん共感新聞
- ・子育てあるある記事にほっとする、元気になる、笑顔になる…母親たちの心のよりどころに
- ・お母さん記者たちは「お母さん大学」サイトで発信、お母さん同士学び合い、つながる安心
- ・通常、新聞配布は「笑顔のタネまき活動」としてお母さん（共感者）たちの手から手へ
- ・お母さん業界新聞だが、お父さん読者も多数。夫婦のコミュニケーションツールに

●お母さん業界新聞電子版5月号・英字版特別号コンテンツ紹介

新型コロナウイルスに負けない「母たちの思い」を、不可能を可能した「青いバラ」で表現

- ・特集「父時間 お父さんおうちレポート 父力あっぶあっぶ中」
- ・藤本裕子コラム百万母力「わが子のそばで」
- ・お母さんが考えた「防詐欺アイデア」
- ・全国のお母さん記者が発信する、子育て中の今！！

●お母さん業界新聞電子版6月号コンテンツ

パンデミックで世界中の人々が心をひとつにたたかっている。人々の暮らしと息遣いを感じる

- ・特集 コロナ・ワールドレポート「世界中でステイホーム」
- ・お母さん記者が聞いた「コロナ禍の子どもたちの本音」
- ・藤本裕子コラム百万母力「もうひとつの三密」
- ・お母さんに質問「コロナが終息したら何したい？」

●電子版・英字版サービス利用方法（どちらかのみでもOK）

1. 企業・団体等からお母さん業界新聞社へ、申込みまたは問い合わせを
2. 正式に申し込み後、PDFを受け取り、社員やメンバーへメール等で提供し、読んでもらう

本件に関する問い合わせは、下記をお願いいたします。

株式会社お母さん業界新聞社 担当/青柳真美、矢吹康文

TEL045-444-4030 FAX045-444-4031 090-1456-2536

URL：<https://www.okaasan.net/> E-mail:info@30ans.com

百万母力の子育て情報紙「月刊お母さん業界新聞」概要書

「お母さん業界新聞全国版」

- 新聞名：百万母力の子育て情報紙『月刊お母さん業界新聞』
- 発行：お母さん大学
- 制作：株式会社お母さん業界新聞社
〒221-0055 神奈川県横浜市神奈川区大野町 1-8-406
- 発行人：藤本裕子
- 趣旨：お母さんはスゴイ！を伝える子育て情報紙
- 創刊：2008年4月
- 発行：毎月1日／ウェブは日々更新／メール版は日刊
- 新聞部数：全国10万部
- 新聞仕様：タブロイド判／4C／8ページ
- 料金：お母さん大学学費（年間6000円）、グループ・団体購読あり
- 新聞配布：定期購読者、お母さん記者、子育てサークル、幼稚園、学校、公共施設、企業、団体、関連ネットワーク等で配布ほか、閲覧も多数



★本紙は、お母さんの笑顔をつなぐ「百万母力協働プロジェクト」のツールであり、お母さん大学生（お母さん記者）は個人購読、幼稚園や保育園、子育て団体や企業様には応援購読ほか、活動にご協賛をいただいています。

「お母さん業界新聞エリア版」

「お母さん業界新聞全国版」に、限定エリア在住の母親発信による、地元情報を盛り込んだアレンジ版。エリア版、わたし版とも、全国版と同様「お母さんの心」が満載。「地産地消」の新聞として地域で配られ、笑顔（幸せ）の連鎖を生んでいます。自治体や団体、民間等さまざまな連携の中で毎月「折々おしゃべり会」や「新聞づくり講座」を実施するほか新聞配り隊、子守隊などの協力者を得て、「お母さんの笑顔あふれる横浜」を目指しています。新聞は「お母さんの笑顔」、配布は「お母さんの笑顔の種まき活動」と呼ばれています。



- 新聞名：子育てをエンターテイメントする『お母さん業界新聞エリア版』
- 趣旨：“孤育て”をなくそう。「お母さんの笑顔」で地域をつなぐ
- 発行エリア：横浜版5万部、静岡版・大阪版・ちっこ（福岡）版1万部
- 発行：毎月1日／タブロイド判／4C／8ページ
- 発行元：お母さん大学 ※お母さん大学への入学は年間6000円
- 企画：お母さん業界新聞社
- 発行人：エリア支部代表
- 編集長：エリア版編集長
- 料金：限定エリア無料配布
- 新聞配布：お母さん記者、子育てサークル、子育てひろば、幼稚園、保育園、学校、図書館、市民活動センター等公共施設ほか横浜市、企業、団体、関連ネットワーク等、賛同者・共感者による手配り。